GeneXusは、
未来の「資産」をどう創るのか？

ジェネクサス・ジャパン株式会社

Copyright © GeneXus Japan Inc.

アジェンダ

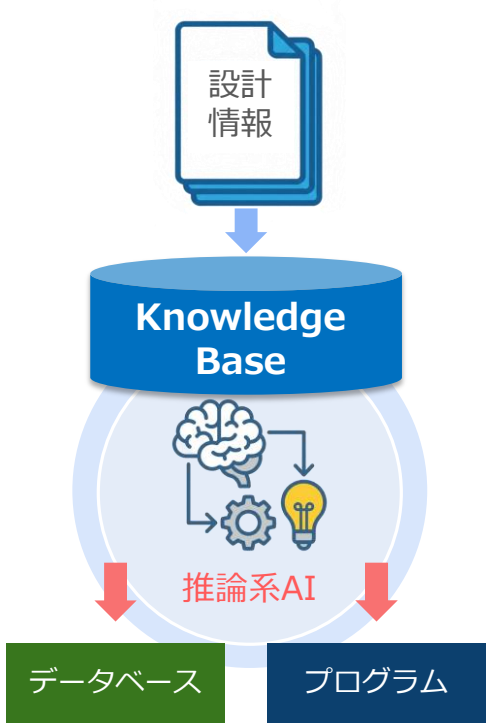
1. GeneXusの思想
2. GeneXusの効果が発揮される3つのケース
3. 導入実績
4. AIと共に進化する未来
5. まとめ

1. GeneXusの思想

GeneXusの思想

GeneXusの思想 ＝ Future-proof

技術の進化を吸収し、ビジネス資産を守り続ける思想



核となる技術「ナレッジベース（KB）」

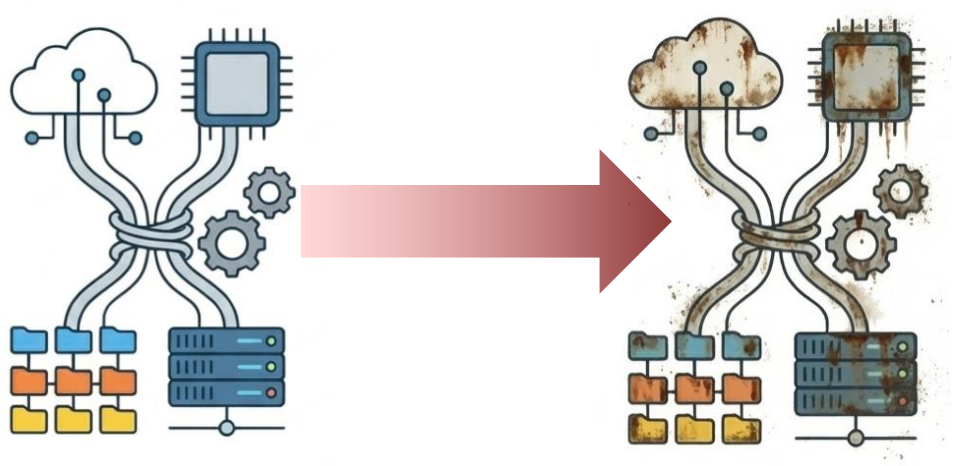
業務システムに必要な「すべての情報」を、**技術に依存しない**形で一元管理するデータベース（設計図）。
投入された情報に基づき「**推論系AI技術**」により、
データベース、およびプログラムを**自動生成**します。

✔ **KBで実現**

IT技術と資産の分離　＋　変化への柔軟な対応

IT技術と資産の分離

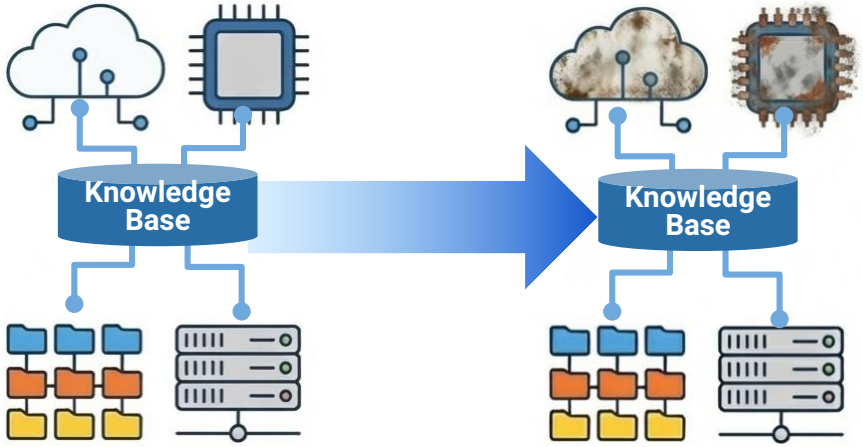
従来型開発：技術と資産の「密結合」



[技術基盤] と [資産（業務ノウハウ）] が密結合。技術が陳腐化すると、業務システムも影響を受ける。

⚠ **結果：「0からの再構築」が発生。**

GeneXus：技術と資産の「分離」



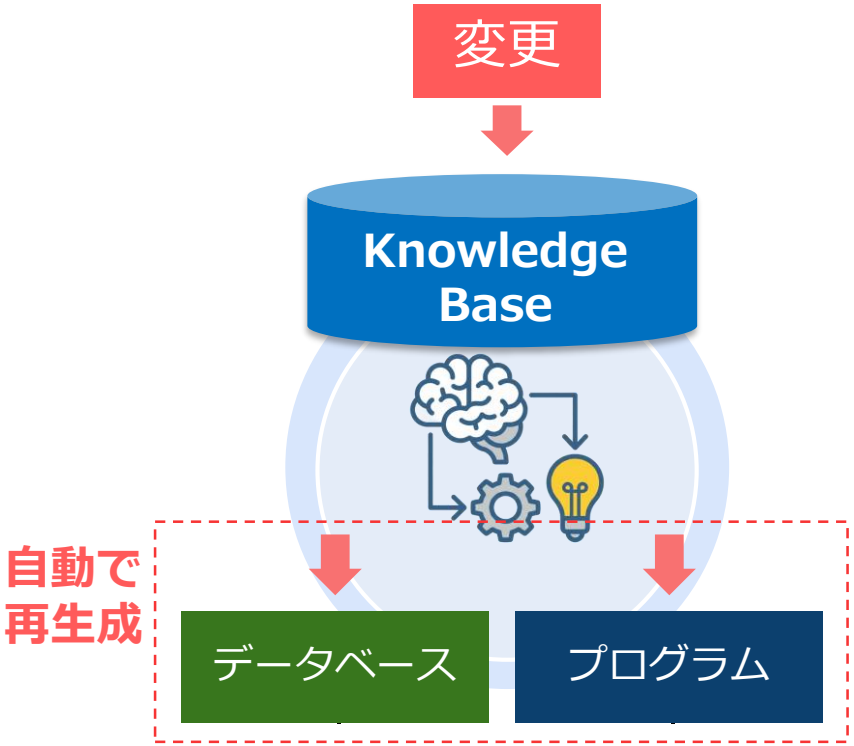
[技術基盤] から[資産（業務ノウハウ）] を分離しナレッジベース（KB）で管理。技術が陳腐化しても、業務システムは影響を受けない。

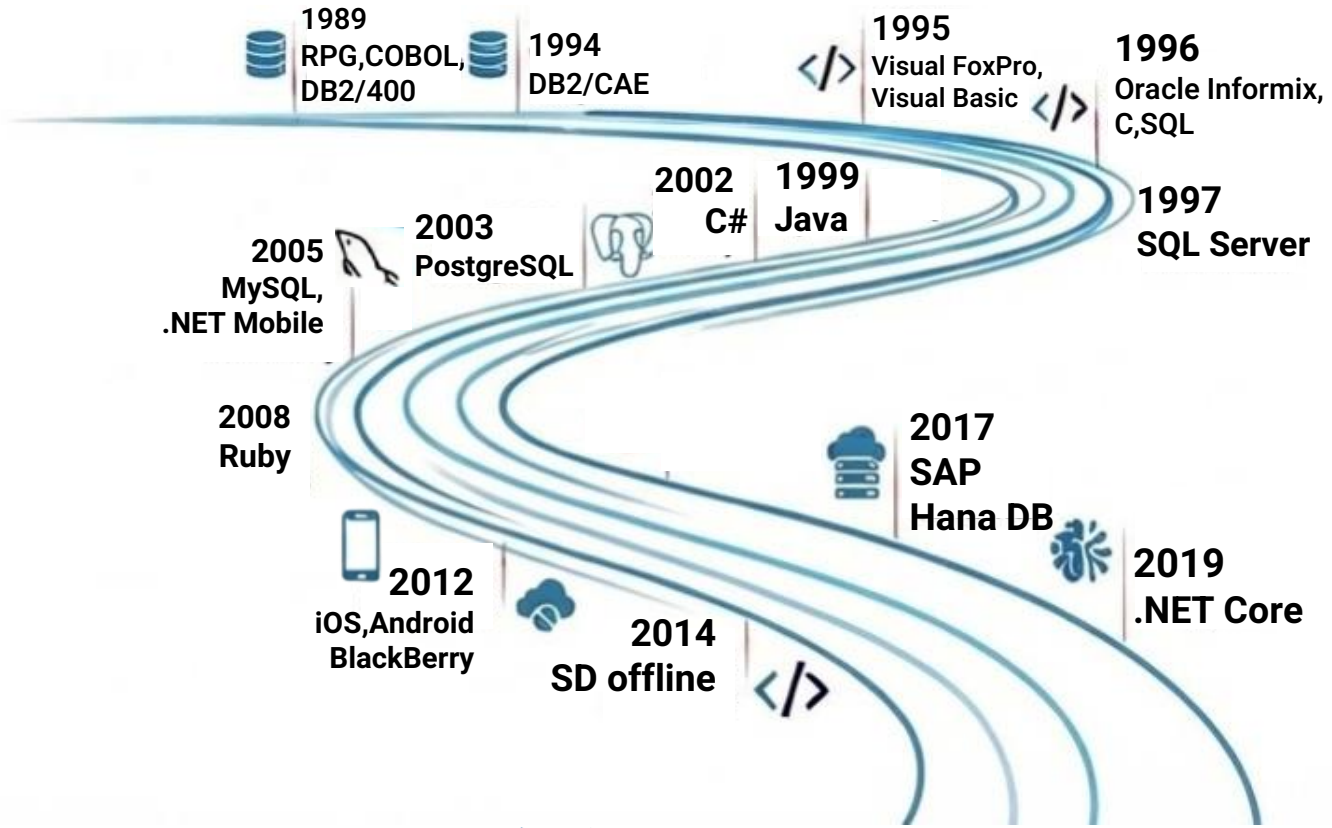
✓ **結果：「0からの再構築」を回避**

資産（業務ノウハウ）の蓄積・継承が可能

GX

変化への柔軟な対応





業務要件の変更対応

ナレッジベースに変更を加えると、
変更が必要なDBとプログラムを自動で再生成。

技術への追随

GeneXusが世の中の環境に追随し、
将来の環境変化にも柔軟に適応可能。

システムを保守・改善し続けることが可能

2. GeneXusの効果が発揮される3つのケース

Case1：モダナイゼーション

＜ 課題 ＞

長年使ってきた基幹システムのDBやAPIは、今後も有効活用したい

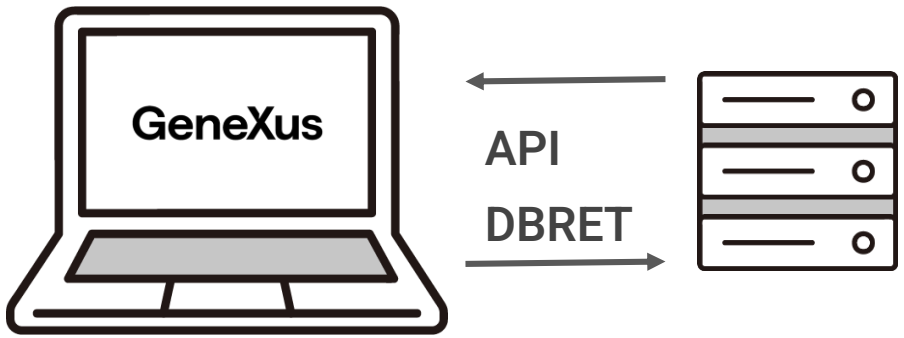
これから作るシステムが5年後、10年後に『陳腐化』するのは避けたい

GeneXusによる解決

「既存資産の活用」と「陳腐化防止」を同時に実現

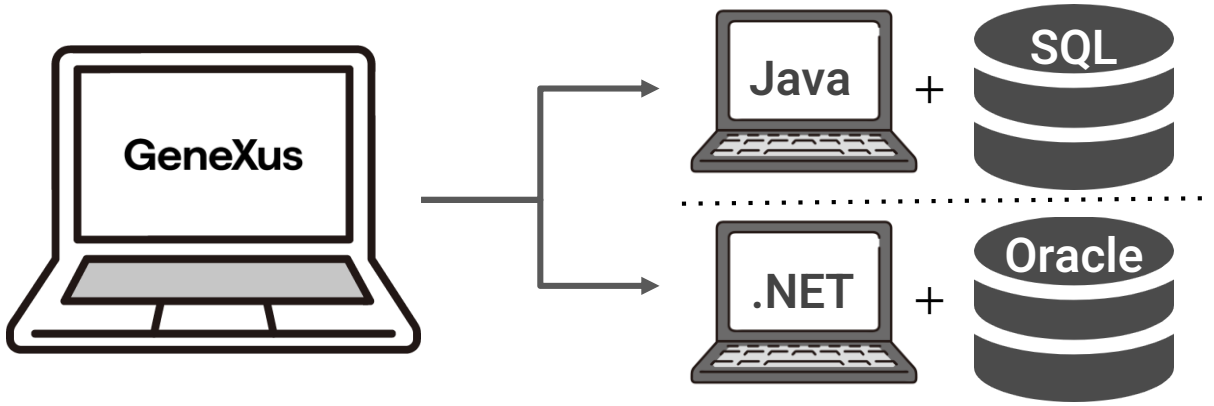
既存資産の活用

API連携 (REST/SOAP) や DB連携 (DBRET) に標準対応。



陳腐化防止

マルチプラットフォームに対応。時代に合わせて最新のジェネレータを選んで再生成可能。



Case2：複雑な業務要件

＜ 課題 ＞

従来よりも早く開発をしたいが、柔軟なツールが欲しい。

ノーコードの標準機能だけでは、独自の『業務ロジック』の実装が難しい。

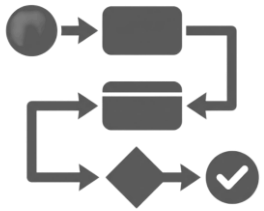
GeneXusによる解決

「豊富な標準機能」と「ローコード」の柔軟性を両立

標準機能

セキュリティ(GAM), ワークフロー(GXflow),
デザインシステム







柔軟性・拡張性

複雑な業務ロジックを組むことも可能。

Rule画面

```
Default(InvoiceDate,&Today);
NoAccept(InvoiceSubject);
```

```
For each Employee
    Where DepartmentId = &DepartmentId
    Where EmployeeJoinedDate < &ParmDateFrom
    Where EmployeeLeftDate.IsNull()
    Where EmployeeInvoiceCount > 10

    Print EmployeeList

Endfor
```

Case3：コスト削減

＜ 課題 ＞

保守を続けても、数年後には技術が古くなり再構築が必要になり莫大なコストがかかる

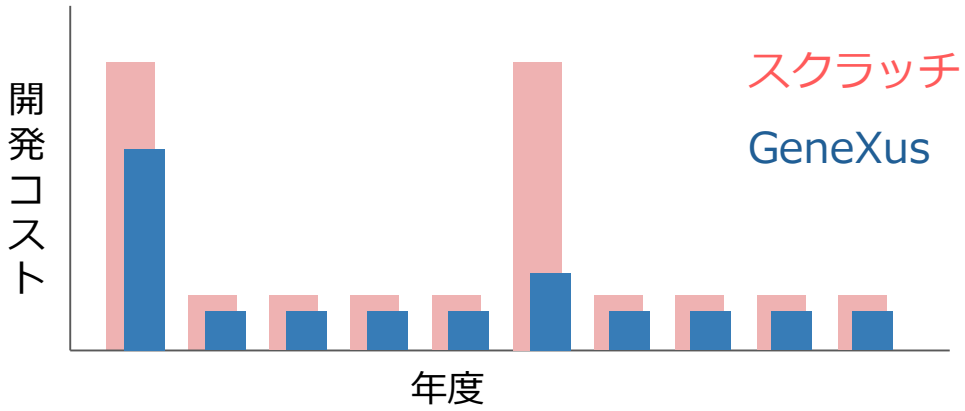
ユーザー数やアプリ数による見えないコストが全社展開を阻んでいる

GeneXusによる解決

「再構築」「ライセンス」の開発コストを最適化

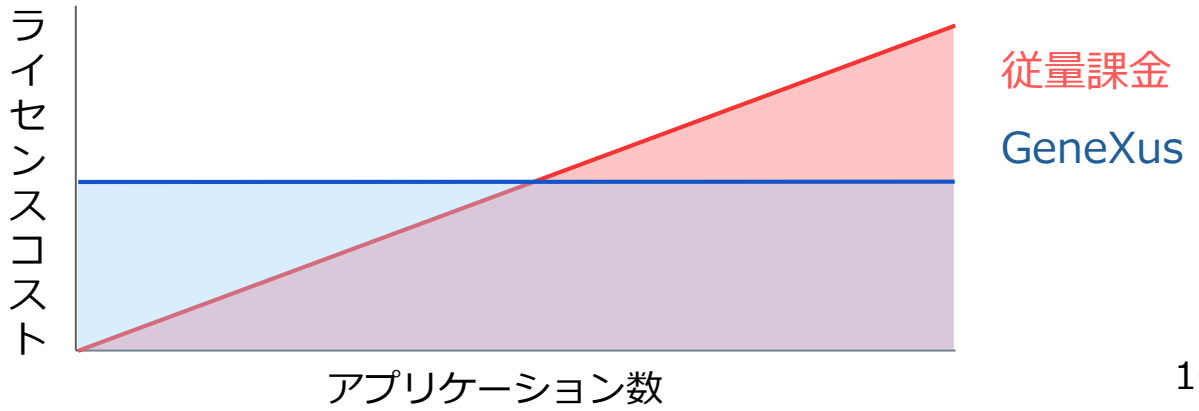
資産継承と自動生成

KBはそのまま最新技術で再生成可能。変更時の影響分析や必要な要素を自動生成し保守可能。



開発者ライセンス

開発者数に応じた課金体系。生成したアプリケーション数やユーザー数による追加コストは一切不要。



GX

3. 導入実績

導入実績



11,000+

導入企業数

50+

販売国

35年

歴史

導入事例

山崎製パン株式会社 様

- メインフレーム系基幹システムをオープンシステムへ再構築
- 業務知識があれば開発可能であることを評価し、GeneXusを採用
- UI・DBの自動生成と影響分析の容易化により、業務効率が向上
- 開発工数を3割以上削減し、低コスト化とユーザーニーズへの迅速な反映を実現

ジャルパック・インターナショナル・ハワイ 様

- GeneXusを活用し、1994年稼働開始の既存システムを刷新
- 2008年：クライアント/サーバーシステムへ移行
  2020年：Web化を実現
- 既存資産（IBM i）を活用した再構築を達成
- KBのビジネスロジックを保持したまま、C#からJavaへの言語変更も実現

株式会社りそなホールディングス 様

- 営業店システムを、専用金融端末での構築・運用からWebアプリケーションへと刷新
- 単純リプレースより圧倒的に短い開発工期、少ないコストで、新たな仕組みを整える
- GeneXusが技術進化の差分を吸収し、構築したアプリケーション資産を長期間活用
- 開発期間：予定の16カ月から半分以下の約7カ月へ
  開発コスト：25%程度削減

導入事例一覧

4. AIと共に進化する未来

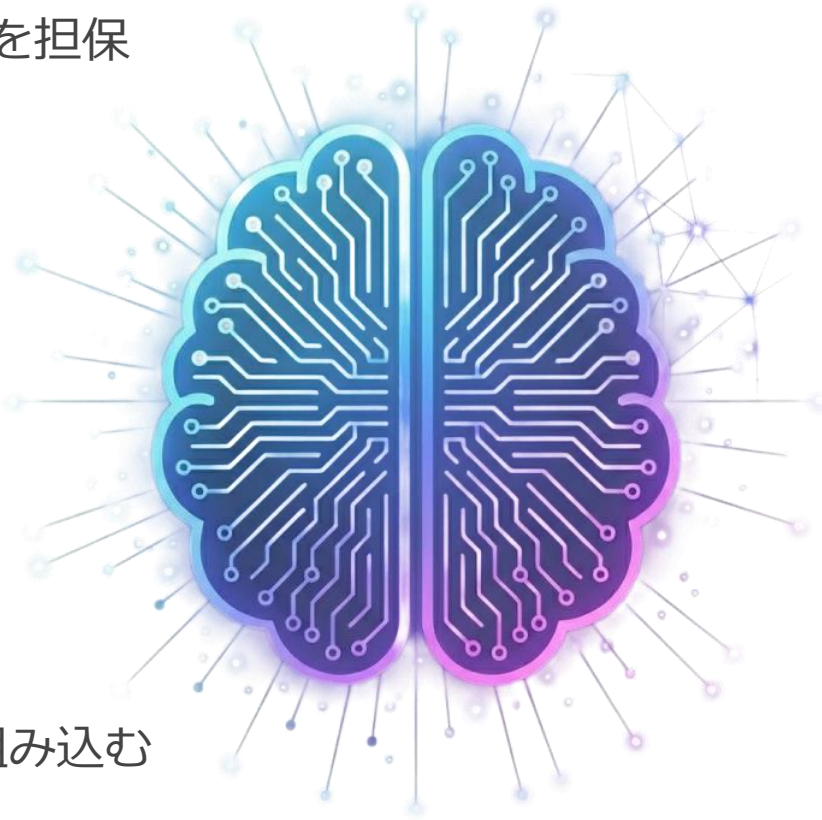
AIとの親和性

GeneXus
推論系AI

KBから最適なコードとDBを自動生成
システム開発の**「確実性」**と**「品質」**を担保

GeneXus Next
推論系AI＋生成AI

自然言語でKBの自動生成・修正
システム開発をより**「容易に」**



Globant
Enterprise AI
AIプラットフォーム

アプリケーションにAI機能を容易に組み込む
生成AI（LLM）との**「親和性」**

5. まとめ

未来の「資産」をどう創るのか

システムを「ビジネス資産」へ。

GeneXusの思想
『Future-proof』

技術の進化に翻弄されることなく、
ビジネス資産を永続的に守り抜く
設計思想です



GeneXusの核
『ナレッジベース』

KBを技術基盤から分離し、
変化にも柔軟に対応。時代を超えた
資産の蓄積・継承を実現します

GeneXusは、皆様のビジネス資産を未来へ繋ぐツールです

お問い合わせ

ジェネクサス・ジャパン株式会社
営業部

E-Mail：info@genexus.jp
WebSite：http://www.genexus.jp

GeneXus™

ジェネクサス・ジャパン株式会社